

予算の概要

一般会計の歳入と歳出のポイント

歳入

市税

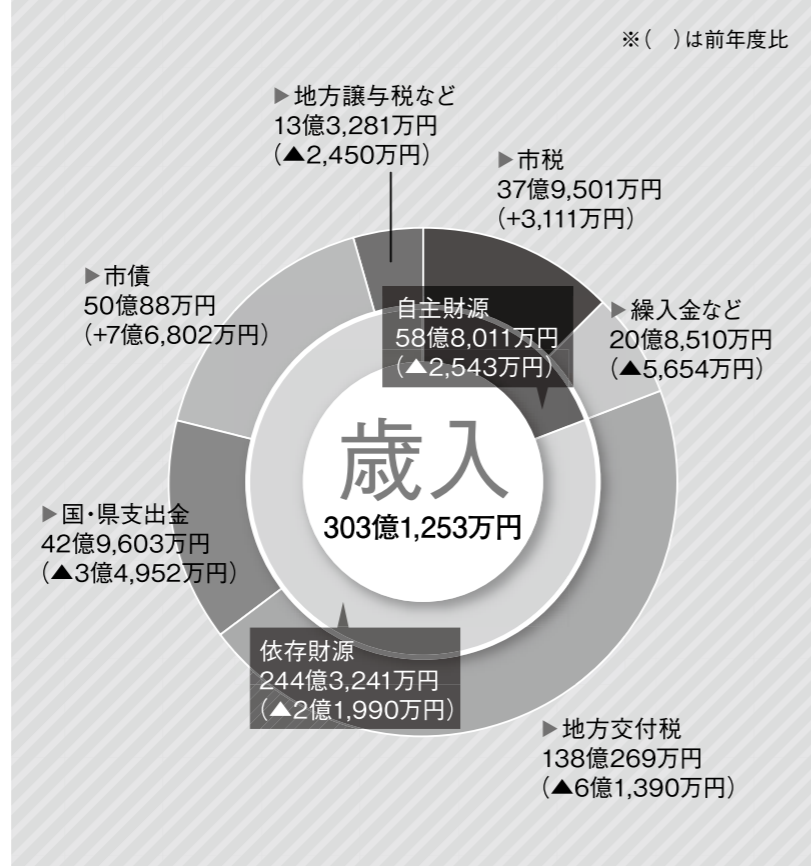
海外経済の不確実性などによる一部業種の収益減による法人市民税の減額を見込むものの、家屋の新築件数の増加および企業の設備投資の増加による固定資産税の増額が見込まれるため、市税全体で前年度比0.8%増の37億9,501万円を見込んでいます。

地方交付税

合併前の旧市町ごとに算定される額の合算額を下回らないように特例で交付されてきた普通交付税の段階的な縮減が3年度目を迎えることを考慮して、地方交付税全体で前年度比4.3%減の138億269万円を見込んでいます。

市債

主に、斎場整備事業6億8,450万円、過疎地域自立促進基金への積立4億円、災害防除事業2億7,620万円、比和あけぼの荘改築事業2億810万円などの借入れを予定しており、前年度比18.1%増の50億88万円を見込んでいます。なお、この借入れ予定額は公債費負担適正化計画の範囲内の金額です。



歳出

人件費

職員の異動(新規採用・退職)による減額などにより、前年度比1.1%減の40億7,094万円を見込んでいます。

扶助費

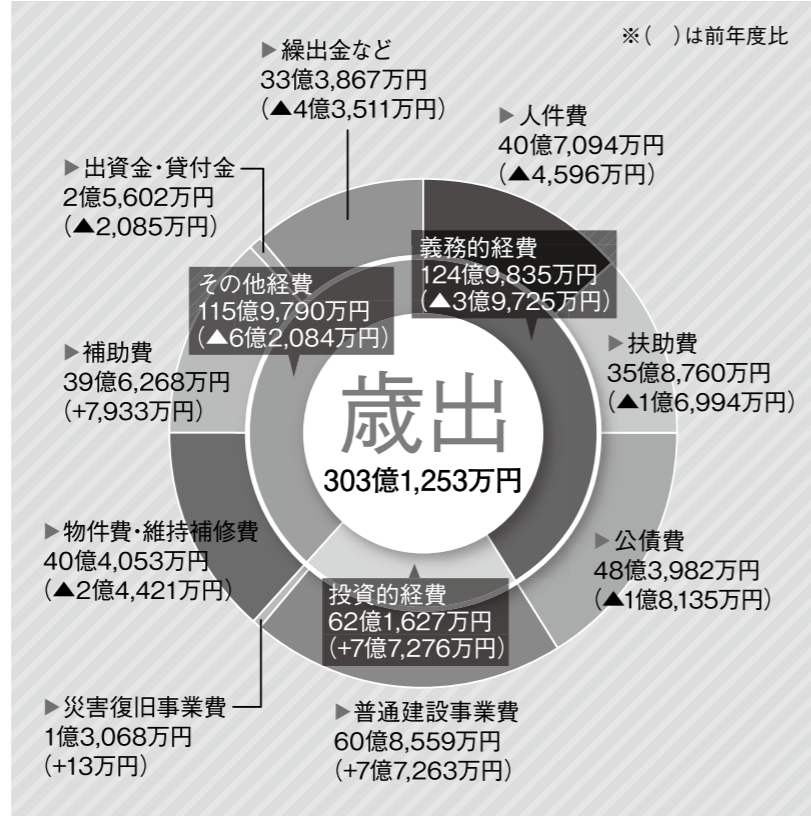
臨時福祉給付金事業の終了などにより、前年度比4.5%減の35億8,760万円を見込んでいます。

公債費

計画的な借入れにより、前年度比3.6%減の48億3,982万円を見込んでいます。

普通建設事業費

こども未来広場(小児科診療所・病児病後児保育施設)整備事業、比和あけぼの荘改築事業、鶏舎整備補助事業、庄原小学校改築工事、道路新設改良事業などを行うために、前年度比14.5%増の60億8,559万円を見込んでいます。



平成29年度当初予算

財政課財政係 ☎0824-73-1129

次代につながるまちづくり予算 ~にぎわいと子育て環境の充実~

庄原市の1年間のお金の使い方をまとめた平成29年度予算が決定しました。市全体の予算は470億8,066万円で、前年度から6億9,027万円の減額となりました。本市が進めている庄原いちばん基本計画をさらに深化させた取り組みとなる「庄原いちばんづくり」と「比婆いざなみ街道物語」で計画した事業を中心に、第2期庄原市長期総合計画に掲げる将来像「美しく輝く 里山共生都市 ~みんなが“好き”と実感できる“しょうばら”~」の実現に向けて、次代につながる施策を基本とした予算編成を行いました。

※金額は万円未満を四捨五入していますので、内訳の合計は必ずしも一致しません。
※▲はマイナスを表しています。



予算額

会計別の平成29年度予算額および前年度予算額との比較

会計名	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率
一般会計	303億1,253万円	305億5,785万円	▲2億4,533万円	▲0.8%
特別会計	133億5,815万円	140億2,654万円	▲6億6,839万円	▲4.8%
住宅資金特別会計	509万円	519万円	▲10万円	▲1.9%
歯科診療所特別会計	2,123万円	2,640万円	▲517万円	▲19.6%
休日診療センター特別会計	1,261万円	1,293万円	▲32万円	▲2.5%
国民健康保険特別会計	47億7,291万円	47億818万円	6,473万円	1.4%
国民健康保険特別会計(直診勘定)	9,544万円	1億925万円	▲1,381万円	▲12.6%
後期高齢者医療特別会計	5億9,566万円	6億2,795万円	▲3,228万円	▲5.1%
介護保険特別会計	61億7,474万円	63億5,101万円	▲1億7,626万円	▲2.8%
介護保険サービス事業特別会計	4,436万円	4,428万円	8万円	0.2%
公共下水道事業特別会計	9億9,118万円	9億8,811万円	307万円	0.3%
農業集落排水事業特別会計	3億8,271万円	3億9,450万円	▲1,179万円	▲3.0%
浄化槽整備事業特別会計	2億6,014万円	2億3,985万円	2,029万円	8.5%
簡易水道事業特別会計	(※1) 0万円	3億363万円	▲3億363万円	▲100.0%
工業団地造成事業特別会計	10万円	2億1,330万円	▲2億1,320万円	▲100.0%
宅地造成事業特別会計	199万円	199万円	0万円	0.0%
企業会計	33億7,726万円	31億8,039万円	1億9,687万円	6.2%
水道事業会計	18億8,124万円	18億1,571万円	6,553万円	3.6%
病院事業会計	14億9,601万円	13億6,468万円	1億3,134万円	9.6%
比和財産区特別会計	3,272万円	614万円	2,658万円	432.9%

(※1)簡易水道事業特別会計は平成29年度より水道事業会計へ統合されました。

予算の用途

目的別に見た市民1人に使われる市のお金(一般会計)

<p>●1人当たり 82.1万円</p> <p>人口 36,927人 (平成29年1月31日現在)</p>	<p>総務費 11.4万円</p> <p>自治振興、超高速情報通信網整備、戸籍事務などに</p>	<p>農林水産業費 7.2万円</p> <p>新規就農者支援、農業担い手支援、森林整備などに</p>
<p>民生費 19.8万円</p> <p>高齢者・障害者などの福祉、子育て支援などに</p>	<p>衛生費 9.7万円</p> <p>医療の充実、健康診査、ごみ処理、水道事業などに</p>	<p>教育費 6.0万円</p> <p>学校教育、文化・スポーツ振興などに</p>
<p>公債費 13.1万円</p> <p>市債(借入金)の元金と利子の返済に</p>	<p>土木費 8.0万円</p> <p>道路整備、区画整理、公園・公営住宅の管理などに</p>	<p>その他 6.9万円</p> <p>市議会運営、商工業・観光振興、消防・防災などに</p>

主な事業

庄原いちばんづくりの3つの分野別政策に沿った事業を紹介します

「地域産業」

のいちばん

比婆牛ブランド化の推進

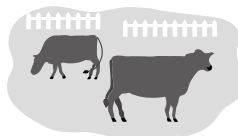
▶ 4,032万円 **拡充**

平成28年6月に「比婆牛」が「地域団体商標」に登録されました。今後、認知度や地域ブランド力を高め消費拡大を図るとともに、比婆牛の認証頭数を増頭させる取り組みとして実施します。

ワイン用ぶどう栽培および醸造研究

▶ 196万円 **新規**

県立広島大学にワイン用ぶどうの品種選定研究を委託して、庄原の風土に合うワイン用ぶどうの品種を選定し、将来的には本市の特産ワインが醸造できるよう研究を進めます。



こんな事業も

- 中心市街地にぎわい再生 ▶ 2,126万円
- マツタケ山整備奨励 ▶ 144万円
- ドローン活用の推進 ▶ 555万円

有害鳥獣処理施設整備および運営

▶ 2,809万円 **新規**

捕獲したイノシシなどの処理に対応するため、新たに有害鳥獣処理施設を整備して、捕獲の促進とジビエやペットフードとして有効活用を図るための体制を整えます。

こども未来広場の整備

▶ 3億2,207万円 **新規**

本市の小児科医療および子育て支援施設の現状を踏まえ、さらなる安心が実感できる子育て環境を構築するため、小児科診療所および病児病後児保育施設を整備します。

高齢者等冬期安心住宅の整備

▶ 3,657万円 **拡充**

比和地域に高齢者等冬期安心住宅を整備することとし、比和あけぼの荘に併設します。

こんな事業も

- 新焼却処理施設の整備 ▶ 5,935万円
- 第3子以降保育料無料化および第2子保育料半額化 ▶ 継続
- 庄原赤十字病院の産科再開に向けた取り組みの推進 ▶ 3,600万円
- 小・中学校への外国語指導助手の追加配置 ▶ 3,007万円
- モデル校へのタブレット端末配備によるICT(※)活用教育の検討 ▶ 248万円

比和あけぼの荘の整備

▶ 2億5,516万円 **継続**

健康増進施設である比和あけぼの荘を整備し、市民の健康増進や介護予防を推進します。

斎場の整備

▶ 7億2,760万円 **継続**

築後40年以上が経過し老朽化が著しい庄原市斎場を、庄原市斎場再編整備計画に基づき、平成30年度の完成を目指し、建物本体の工事に着手します。また、東城斎場の駐車場を、式場規模に応じた駐車場として整備します。

「暮らしの安心」

のいちばん

超高速情報通信網の整備

▶ 8億7,886万円 **継続**

光ケーブルによる超高速情報通信網を整備することにより、通信量と安定性の増したインターネット環境を整備し、さらに住民告知端末による市からの一斉放送などのサービスが提供できる環境を整えます。本年度は、庄原地域および西城地域の整備を進めます。



※ICT:情報通信技術のこと。
Information and Communication Technologyの略語。

「にぎわいと活力」

のいちばん

定住促進事業

▶ 5,156万円 **拡充**

平成28年度から実施している「しょうばら縁結び事業」を拡充し、企業との連携による婚活イベントを加え、より多くのカップル誕生と成婚に結びつけ、定住につながる「きっかけづくり」を実施します。また、本市への定住を紹介する「庄原市定住フェア」を新たに広島市で独自開催し、本市への定住希望者のさらなる誘致を進めるとともに、転入者に対する住宅取得などの補助対象者を拡大します。

庄原さとやまブランディング事業の推進

▶ 2,350万円 **新規**

地方創生推進交付金を活用した新規事業として「庄原さとやま体験ブランディング事業」を実施し、体験型旅行向けのプログラム開発や備品などを整備し、旅行者受け入れ体制を整えます。

こんな事業も

- 国営備北丘陵公園北入口エリアへの無料交流ゾーンの設置(社会実験事業) ▶ 29万円
- 自治振興区の運営支援 ▶ 2億7,292万円
- 地域おこし協力隊の推進 ▶ 2,408万円
- 観光推進体制の充実 ▶ 5,829万円

比婆いざなみ街道物語の推進

▶ 2,041万円 **拡充**

北部地域周辺の地域資源を「比婆いざなみ街道」としてつなぎ、多種多様な地域資源の認知度の向上、観光誘客、地域経済の活性化を図る各種事業を拡充して推進します。